

KLS47

現代中国語の放射的虚構移動表現

Emanation-type Fictive Motion Expressions in Mandarin Chinese

発表者: 黄 俊翔 (名古屋大学大学院)
 堀江 薫 (名古屋大学)
 秋田喜美 (名古屋大学)
 Email: huangjunxiang.aidan@gmail.com

2022年6月11日

1

CONTENTS

目次

- | | |
|------------------------|-----------------------------------|
| 1 はじめに
Introduction | 2 先行研究
Previous Studies |
| 3 研究方法
Methodology | 4 結果と考察
Results and Discussion |
| 5 まとめ
Summary | 参考文献
References |

2

1

はじめに

Introduction

3

はじめに

Introduction

放射的虚構移動

Emanation

ある起点から放出される無形物の移動 (Talmy 2000)。

- 例 (1) I quickly looked *down into* the well. (Talmy 2000: 111)視線
 (2) The light is shining *into* the cave. (Talmy 2000: 112)光
 (3) A voice *came from* the heaven. (松本 2017: 22)音

——視線、光、音は、位置の変化が観察できなくとも、移動物として概念化されうることから、これらの表現は虚構的な移動表現であると考えられる。

4

2

先行研究

Previous Studies

5

先行研究

Previous Studies

Takahashi (2002) :

タイ語の視覚、聴覚、嗅覚、触覚の四つの感覚的放射の「概念的堅牢性・実在性 (conceptual solidity / substantiality)」の比較 (図: p.47)

high <----- the degree of conceptual solidity -----> low
 (a) visual (b) auditory (c) olfactory
 (d) tactile

判断基準

- a. 何らかの目的のために動作主によって操作され得るか。 (i.e. controllability)
 b. 目標の存在物がどのように特徴付けられているか。 (i.e. goal region)
 視覚的放射は、相対的に話者によって制御されやすく、視線の着点も多様であり、「概念的堅牢性/実在性が高い」とされる。

6

先行研究

Previous Studies

松本(2004):

日本語の視覚に関する移動表現は「視覚的放射」「映像の移動」「注視点の移動」という3タイプに分類される。

例

- (4) 空を見上げた。(p.113)視線
 (5) 富士山（の姿）が目（に）飛び込んできた・入った。(p.117)映像
 (6) 太郎は読んでいた新聞から目（を）上げた。(p.121)注視点

日本語では視覚的虚構移動表現が豊富にみられるのに対して、他の知覚に関する虚構移動が相対的に貧弱であると指摘している。

視覚>聴覚、嗅覚、味覚

7

先行研究

Previous Studies

一方、中国語の放射的虚構移動を対象とした先行研究には、Lamarre (2017)、陳 (2020)、楊 (2020) などがあるが、従来の研究では、あるタイプの虚構移動における統語的特徴を考察した研究が多い。

Lamarre (2017: 123) は視線と音声の移動表現を対象としているが、考察した視覚における移動表現は視覚動詞（“看「見る」”など）を用いたもののみであり、また、堅牢性・実質性のような移動物の概念化の問題は議論されていない。

SIGHT

- (7) 从 我 家 的 四 层 阳 台 上 看 过 去 ... (p.123, 一部省略)
 cong wo jia de si-ceng yangtai-shang kan-guo-qu
 from 1SG home GEN 4-floor balcony-upside look-over-AND
 「うちの4階のバルコニーから見わたすと…」

8

先行研究

Previous Studies

松本 (2004) と Takahashi (2002) の研究によると、移動物としての概念化について、異なる種類の移動物の間で程度（表現の豊富さ・概念的堅牢性）の違いがあることがわかる。

本研究はこれらの研究を踏まえ、放射的虚構移動表現における虚構移動物の概念化の様相が知覚のタイプによって異なると考え、中国語における光（視覚）と音（聴覚）の移動表現に関して、以下の研究課題に取り組む。

課題

- I. 光と音は、移動物としての概念化に違いがあるか？
 II. ある場合、それはどのような違いか、そしてそれはなぜか？

9

3

研究方法

Methods

10

研究方法

Methods

本研究では、コーパスの例文を用いて分析を行った。

step1 『北京語言大学 BCC コーパス』 <http://bcc.bcu.edu.cn/>

キーワード 光：“光”（自由形態素）
 音：“声”（拘束形態素）+ “声音”（二文字単語）

キーワード	検出された例	選定例
“光” (guang)	584,343	1,500
“声” (sheng)	852,820	500
“声音” (shengyin)	22,482	500

step2 例文をダウンロードした後、エクセルでランダム関数を使い、考察対象を選定した。

step3 選定した例文から該当の虚構移動表現を抽出し、分析を行った。

11

4

結果と考察

Results and Discussion

12

結果

Results

結果0 光の例文は159例、音の例文は181例（“声”：80例、“声音”：101例）得られた。

示 唆 音より光の方が移動物として概念化されやすい。

次のスライドから、結果の詳細を示す。

13

考察

Discussion

結果1 光の移動表現では、生起可能な移動の経路・様態動詞が音の移動表現より多様である。

液体(流体物)の移動様態を表す様態動詞が多くみられた。
小説などの文学作品の中で多用される。

表1 “光”と共起した移動動詞

経路動詞 (13語)	自律移動： 落（落ちる） 降（降る） 射（射す） 透射（透過する） 散（散る） 通（通る）
使役移動：	发（出す） 放（放つ） 放射（放射する） 释放（放出する） 放射（放射する） 折射（屈折する） 折射（屈折する）
様態動詞 (16語)	自律移動： 流（流れる） 漏（漏れる） 透（（液体のように）通る） 溢（溢れる） 漏（漏れる） 泛（浮かぶ） 漂・洩（強く流れる） 傾泻（注ぐ） 流灌・泻（強く流れる） 绽放（（花のように）開く） 滑（滑る） 粘（粘り込む） 浮（浮く） 飞（とぶ） 爆（はぜる） 使役移動：洒（まく）

考察

Discussion

LIGHT (8) 明月 高 挂 天上，洒 下 了 金 黄 的 清 光。
月 高 挂 着 空 间 下 着 黄 色 的 清 光
（《圣女》 黄易（原文以外筆者））
直訳：「…（前略）…、金色の澄んだ光を下の方へまき散らした。」
「明るい月が空高くにかかり、金色の澄んだ光が落ちた。」

15

考察

Discussion

音については、光に比べて使用された動詞の数が少なく（表2）、移動動詞の例のほとんど（96.3%）は“传 chuan（伝わる）”と“发 fa（出す）”であった。

表2 “声・声音”と共起した移動動詞

経路動詞	自律移動：传（伝わる） 使役移動：发（出す）
様態動詞	自律移動：爆发（爆発する） 飘（漂う） 使役移動：挤（押しつける）

SOUND (9) 笑声 与 啜泣声 从 外头 传 入。
笑い声 と 泣き声 から 外 伝わる 入る

（《保送入怀》 余宛宛（原文以外筆者））
「笑い声と泣き声が外から聞こえてくる。」

16

考察

Discussion

結果2 光と比べ、音の移動表現では経路を表す経路補語の使用が限られている。

動詞“传 chuan”は、経路補語“来 lai（来る）”“入 ru（入る）”“进 jin（入る）”“出 chu（出る）”と共起できるが（例：传进 chuan-jin（伝わる＋入る））が、他の動詞は共起可能な経路補語が“出”のみであった。

SOUND (10) 走廊 的 门（…）发 出 巨 大 的 响 声。（SNS（原文以外筆者））
廊下 の ドア 出す 出る 巨大 の 音
「廊下のドアから大きな音が出た。」

17

考察

Discussion

音を出す動作・行為を表す動詞は、共起可能な経路補語が基本的に“出”のみであった。

SOUND (11) 他 不 觉 笑 出 声。（《豆芽小姐》 阿蛮（原文以外筆者））
彼 思 不 笑 出 声
「彼は思わず声を出して笑った。」

18

考察

Discussion

結果3 空間移動以外に、光は起点領域として感情領域などへのメタファー写像が見られたが、この種のメタファー的移動表現は、音については一切見られなかった。

(なお、液体移動動詞を用いた光の表現もメタファー表現である。)

HAPPINESS IS LIGHT (Kövecses 2002)

- (12) 田二牛 站 起 来,
 名前 立つ 上がる 来る
 眼 里 放 出 了 光。(田岸,《黄河滩》(原文以外筆者))
 目 中 放 出 光
 下線部の直訳:「目の中は光を放出した。」
 「田二牛は立ち上がって、目が輝いている。」

19

5

まとめ

Summary

20

まとめ

Summary

3つの結果をまとめると、光と音の移動物としての概念化の様相は次の通りである。

1. 移動(様態、経路)動詞の多様性: 光 > 音
2. 経路補語の多様性: 光 > 音
3. メタファー的移動表現の可能性: 光 > 音

本研究の結果は、言語における視覚優位性 (Viberg 1983) の新たな傍証とみることができる。

21

参考文献

References

- ・ 秋田喜美. 2021. 「移動表現の類型論の構築／解体」堀江薫・秋田喜美・北野浩章『言語類型論』第6-7章. 東京: 開拓社.
- ・ 陈君泓. 2020. 《现代汉语虚拟位移表达研究》(現代中国語の虚構移動表現の研究). 吉林大学博士論文.
- ・ Kövecses, Zoltán. 2002. *Metaphor: A Practical Introduction*. Oxford: Oxford University Press.
- ・ Lamarre, Christine. 2017. 「中国語の移動表現」松本曜 (編)『移動表現の類型論』95-128. くろしお出版.
- ・ 松本曜. 2004. 「日本語の視覚表現における虚構移動」『日本語文法』4(1): 111-128.
- ・ 松本曜. 2017. 「移動表現の類型に関する課題」松本曜 (編)『移動表現の類型論』1-24. 東京: くろしお出版.
- ・ Talmy, Leonard. 2000. *Toward a Cognitive Semantics, Vol. 1: Concept Structuring Systems*. Cambridge, MA: MIT Press.
- ・ Takahashi, Kiyoko. 2002. Perception types of emanation fictive motions in Thai. *Proceedings of the 2nd Annual Meeting of the Japanese Cognitive Linguistics Association*, 42-51.
- ・ Viberg, Åke. 1983. The verbs of perception: A typological study. *Linguistics* 21(1): 123-162.
- ・ 杨京鹏. 2020. [英汉散射型虚运动类型实证研究: 以 toward(s) 为例] (英中放射的虚構移動表現の実証研究: toward(s)を例として).《外语教学》41(3): 47-51

22

ご清聴ありがとうございました

Thank you for listening